

目標とする指標の数値及び設定の考え方（最終）

I 産業を活性化し、地域資源を生かすまちづくり

1-1 水産業の振興

目標とする指標	現状値 (R4実績)	令和6	令和7	令和8	令和9
漁業協同組合数（人）	153	150	147	144	141
漁協協同組合取扱金額（百万円）	1,163 1,077	1,100	1,100	1,100	1,100
コンブ生産量（t）	677	650	650	650	650
水産業担い手支援者数（人：累計）	31	34	37	40	43
水産物地域ブランド化取組件数 （件）	3	5	5	5	5

設定の考え方
H27～R4は年平均3人減だが、今後更に減少幅が大きくなる見込として倍の年6人減とし、担い手支援の年3人増との差引により年3人減
現状の取扱金額を維持
現状の生産量を維持
漁業就労奨励金事業2人 その他助成金事業1人
コンブ等のブランド化

1-2 農林業の振興

目標とする指標	現状値 (R4実績)	令和6	令和7	令和8	令和9
専業農家戸数（戸）	8 9	8	8	8	8
経営耕地面積（ha）	125 126	125 126	125 126	125 126	125 126
米収穫量（t）	100	90	90	80 90	80 90
農林業担い手支援者数（人）	2 3	2 3	2 3	3	3
有害鳥獣駆除従事者数（人）	4	3	3	3	3
林業専用道の整備延長（m）	11,373	11,773	12,173	12,573	12,973
森林整備面積（ha）	20 23	18 15	18 15	17 15	17 15
原木シイタケ生産量（t）	10	9	9	8	8

設定の考え方
現状の専業農家戸数を維持
現状の耕地面積を維持
北海道からの生産目標により設定、現状維持
現在2名、新規1名を目標
現状の従事者を維持
毎年400m整備を目標として設定
森林整備計画により設定、現状維持
原木確保の状況から設定、現状維持

1-3 観光業の振興

目標とする指標	現状値 (R4実績)	令和6	令和7	令和8	令和9
観光客の年間入込数(人)	188,000	193,000	196,000	200,000	205,000
横綱記念館の入館者数(人)	8,200	10,000	11,000	11,500	12,000
青函トンネル記念館の入館者数(人)	9,000	10,000	11,000	11,500	12,000
岩部クルーズ乗船客数(人)	1,809	1,800	1,800	1,800	1,800
観光イベントの年間入込数(人)	9,820	10,000	10,500	11,000	12,000

設定の考え方
令和4年度の観光客入込数を基に観光プロモーション等の効果を見込んだ目標数値で設定
令和4年度の入館者数を基に観光プロモーション等の効果を見込んだ目標数値で設定
令和4年度の入館者数を基に観光プロモーション等の効果を見込んだ目標数値で設定
現状の運航体制・運行状況を鑑み目標数値を設定
令和4年度の入込数を基に広告活動等の効果を見込んだ目標数値で設定

1-4 商工業の振興

目標とする指標	現状値 (R4実績)	令和6	令和7	令和8	令和9
商工業者数(件)	198	198	198	198	198
物産店等への年間参加回数(回)	4	5	6	6	6
物産店等への年間参加事業者数(社)	2	3	3	3	4
商工会への補助事案件数(件)	2	2	2	2	2

設定の考え方
過去の減少数は年平均約6件。現状維持するよう支援を行う
参加回数は現状を維持するとともに、さらなる出店を目指す
3社以上の参加ができるよう支援
商工会経営改善普及事業 プレミアム付商品券発行事業

1-4 商工業の振興

目標とする指標	現状値 (R4実績)	令和6	令和7	令和8	令和9
産業活性化サポート事業の補助件数(件)	21	2	2	2	2
進出企業サポート(件)	10	1	1	1	1
起業件数(件)	10	1	1	1	1

設定の考え方
毎年度2件を目標として設定
毎年度1件の企業誘致を目指す
毎年度1件の起業を目指す

II 次世代を育成し、つながり、学び合うまちづくり

2-1 子育て支援の充実

目標とする指標	現状値 (R4実績)	令和6	令和7	令和8	令和9
ゆりっこ広場の年間開催数(回)	40 41	40	40	40	40
乳幼児健診の実施数(回)	12	12	12	12	12

設定の考え方
事業内容の充実を図りながら、現状の開催数を維持
現在の月1回(年12回)の維持を目標

2-2 教育環境の充実

目標とする指標	現状値 (R4実績)	令和6	令和7	令和8	令和9
教職員向け研修会等参加者数(人)	20	20	20	20	20
学習支援等臨時教員配置数(人)	3	3	3	3	3
A L T 配置数(人)	2	2	2	2	2
学校給食における地場産物の使用割合(%)	50 54	50	50	50	50
福島商業高等学校への入学者数(町内外含む)(人)	10	20	20	20	20

設定の考え方
教育委員会等が開催する研修会に対して全教員の6~7割の参加
町立小中学校3校に対し、1名ずつ配置
小学校に1名、中学校に1名配置
北海道教育推進計画の目標指標で道産食材の割合50%
公立高等学校配置計画における再編留保とならない数値

2-3 生涯学習の推進

目標とする指標	現状値 (R4実績)	令和6	令和7	令和8	令和9
文化系生涯学習ボランティアの人数(人)	21	21	21	21	21
町民一人当たりの図書年間貸出冊数(冊)	5	5	5	5	5
町民の図書室利用者登録数(人)	422	430	430	430	430
全講座の年間参加率(%)	33	35	35	35	35
高齢者学級・地域生活学級参加者数(人)	0	60	60	60	60

設定の考え方
現状維持とした
現状維持とした
現状維持とした
人口減少が進んでいるため、現状の参加率を下げないよう現状維持とした
高齢者人口の10%の参加者を見込む

2-4 スポーツの振興

目標とする指標	現状値 (R4実績)	令和6	令和7	令和8	令和9
南北海道駅伝競走大会参加者数	270	300	300	300	300
体育施設の一人当たり年間利用回数 (回)	3	3	3	3	3
スポーツ団体登録者数(団体)	11	11	11	11	11
スポーツ団体加入者数(人)	195	195	195	195	195
体育系生涯学習指導者登録者数 (人)	10	10	10	10	10
スポーツ関連施設数(箇所)	6	6	6	6	6

設定の考え方
参加者数が減少しているが、コロナ制限が解除された中で、今後の見通しとして10%増の参加者を見込む
現状維持とした
現状維持とした
現状維持とした
現状維持とした
全施設開放

2-5 地域文化の振興と継承

目標とする指標	現状値 (R4実績)	令和6	令和7	令和8	令和9
文化芸術事業参加者数	251	260	260	260	260
町民文化祭入場者数(人)	663	680	680	680	680
有・無形文化財の公開(回数)	9	11	11	11	11

設定の考え方
人口減少が進んでいる中で、参加者も減ってきている中で、これ以上減らさないことを目標に現状維持とした
人口減少が進んでいる中で、現在の入場者数を下限設定とし、人口の5%増とした
松前神楽の公開回数9回を中心に、各文化財の公開を1回と設定

Ⅲ 福祉・医療が充実し、互いを認め合えるまちづくり

3-1 高齢者福祉の充実

目標とする指標	現状値 (R4実績)	令和6	令和7	令和8	令和9
要介護者の割合(%)	26%以下 17.02	26%以下 20%以下	26%以下 20%以下	26%以下 20%以下	26%以下 20%以下
ふれあい教室年間開催数(回)	60 67	60	60	60	60

設定の考え方
第8期介護保険事業計画(R3~5)及び第9期計画(R6~8) 予定見込による
現在の開催予定数を維持

3-2 障がい者福祉と社会保障の充実

目標とする指標	現状値 (R4実績)	令和6	令和7	令和8	令和9
障がい者団体会員数(人)	15 14	15 14	15 14	15 14	15 14
要保護世帯数(世帯)	102	99	97	94	92
国民年金制度等の町民周知年間回数(回)	12	12	12	12	12

設定の考え方
現在の会員数維持を目標
北海道が行う就労支援等により、保護世帯の自立を目指す
現状の周知回数を維持 ※国民年金は毎月、町広報に掲載し周知 なお、町民に関する制度改正等は、随時、町広報等で周知

3-3 健康増進と保健・医療の充実

目標とする指標	現状値 (R4実績)	令和6	令和7	令和8	令和9
特定健診の受診率(%)	60 27.1	60	60	60	60
特定健診の保健指導率(%)	60	60	60	60	60
肺がん検診年間受診者数(人)	440 431	400	400	400	400
健康フェスティバル来場者数(人)	220 70	120 100	120 100	120 100	120 100
吉岡温泉の年間利用者数(人)	65,000 56,934	65,000 60,000	65,000 60,000	65,000 60,000	65,000 60,000

設定の考え方
特定健診等実施計画(R6~12) 予定見込による
特定健診等実施計画(R6~12) 予定見込による
いきいき健康ふくしま21行動計画(R6~16) 予定見込による
健康フェスティバルの近年来場者より25%増を目標
人口減少しているが、利用者の現状維持を目標

3-4 人権意識の高揚と男女共同参画の実現

目標とする指標	現状値 (R4実績)	令和6	令和7	令和8	令和9
各種審議会の女性委員の登用割合(%)	33	38	38	38	38

設定の考え方
各種審議会委員数(非常勤の特別職)全体の1/3を目標

IV 安全安心に暮らせるまちづくり

4-1 町の基盤整備の推進

目標とする指標	現状値 (R4実績)	令和6	令和7	令和8	令和9
樹木を植樹している公園数(箇所)	4	4	4	4	4
老朽配水管更新計画の更新件数(件)	9 2	1	1	1	1
浄化槽総設置基数(基)	178 173	191	201	211	221
浄化槽の普及率(%)	28 25	29	31	32	33
沿線自治体と連携した地域高規格道路の年間活動要請回数(回)	4	4	4	4	4
町道整備補修延長(m)	0 307	100 120	200 100	300 248	400 235
町道の除雪延長(km)	38	38	38	38	38
公営住宅改善棟数(棟)	0	3	2	3	3
公営住宅の住環境向上戸数(戸)	0	0	0	36	36
橋梁補修件数(件)	1	1	1	1	1
墓地公園の未許可区画数(区画)	39	37	33	30	28

設定の考え方
公園の樹木を保全することにより、町民に憩いの場を提供する
継続的な配水管更新により、配水管全体の老朽化度合いを一定に保つ
循環型社会形成推進地域計画に基づき設定
浄化槽の設置促進により普及率上昇を目指す ※循環型社会形成推進地域計画に基づき設定
期成会での要望活動(札幌・東京)の他、開発局協議や政党等懇談会で要請を行います。
計画の通り町道を整備補修することにより、重要なインフラである町道を維持する。
冬期間の町道除雪延長を維持することにより、重要なインフラである町道を維持する。
老朽化が進む町営住宅の設備等を改修することにより、居住環境を向上させる。
老朽化が進む町営住宅の設備等を改修することにより、居住環境を向上させる。
橋梁長寿命化計画に基づき、橋梁の調査・改修を行い、安全な通行を維持する。
実績勘案のうえ年間許可数を2~4区画で設定。

4-2 防災・消防体制の充実

目標とする指標	現状値 (R4実績)	令和6	令和7	令和8	令和9
防災訓練回数(回)	1	1	1	1	1
防災活動を行っている自主防災組織数(組織)	35	35	35	35	35
防火意識高揚イベントの年間開催数(回)	4	4	4	4	4
住宅用火災警報器の設置数(%)	69	75	75	75	75
普通救命講習の年間受講者数(人)	130	130	130	130	130
消防計画に基づく施設等整備件数(件)	3	6	3	1	1

設定の考え方
全町的な防災訓練を最低年1回実施
地域防災計画に基づく町内会や日赤・消防関係団体等の自主防災組織35団体を維持
現在年4回開催し、今後も維持する
全国平均(84%)、全道平均(85%)に近づけるため、住宅用火災警報器設置に向け普及啓発に取組む
受講者が100~120人で推移しているため、年130人以上を目標に取組む
高規格救急車、指令車、消防救急デジタル無線更新、消火栓更新を計画的に整備更新する

4-3 土地利用と自然環境の保全

目標とする指標	現状値 (R4実績)	令和6	令和7	令和8	令和9
自然保護監視員活動回数(回)	40 24	40 24	40 24	40 24	40 24
公共施設整備における再エネの導入(件)	0	1	1	1	1

設定の考え方
実測値を基に算出 環境監視員年間24回
新設する公共施設に毎年度1件以上の再エネの導入を行う

4-4 環境衛生の充実

目標とする指標	現状値 (R4実績)	令和6	令和7	令和8	令和9
ボランティア清掃活動数(回)	8 4	8 4	8 4	8 4	8 4
集団資源回収年間排出量(t)	66 56	67 57	68 58	69 59	70 60
一般ごみの一人当たりの排出量(t)	0.33 0.37	0.31 0.35	0.30 0.33	0.29 0.31	0.27 0.29
ごみの総排出量に対する資源ごみの割合(%)	17.0 18.0	17.4 18.6	18.1 19.2	18.6 19.8	18.9 20.4

設定の考え方
現状の清掃活動回数を維持
ごみ減量化に関する町民周知を図り、集団資源回収排出量の増加を目指す
ごみ減量化に関する町民周知を図り、一般ごみ排出量の削減を目指す
ごみ減量化に関する町民周知を図り、ごみの分別等による資源ごみの割合の増加を目指す

4-5 生活基盤の確保

目標とする指標	現状値 (R4実績)	令和6	令和7	令和8	令和9
デマンドバスの年間利用者数(人)	2,799	3,000	3,000	3,000	3,000
路線バス維持に関する協議会開催回数(回)	2	2	2	2	2

設定の考え方
年間3,000人の利用を目標に周知等を行う
渡島地域生活交通確保対策協議会の開催回数

4-6 生活安全の確保

目標とする指標	現状値 (R4実績)	令和6	令和7	令和8	令和9
死亡交通事故の発生件数(件)	0	0	0	0	0
防犯啓発イベントの参加回数(回)	3	3	3	3	3

設定の考え方
交通安全運動の基本である「死亡交通事故0」を目標
春・秋・歳末に実施している防犯啓発を維持

4-7 地域生活を支える取組の推進

目標とする指標	現状値 (R4実績)	令和6	令和7	令和8	令和9
バリアフリー化されている公共施設数(箇所)	22	23	23	23	23

設定の考え方
既存の公共施設のバリアフリー化を維持しつつ、改修予定施設を見込み目標設定

V 持続可能なまちづくり

5-1 協働のまちづくりの推進

目標とする指標	現状値 (R4実績)	令和6	令和7	令和8	令和9
地域生活学級年間開催数(回)	0	3	3	3	3
コミュニティ活動支援事業数(件)	2	2	2	2	2
町内会館等建替・改修・解体件数(件)	1	1	1	1	1

設定の考え方
地域住民を対象に就業者も参加できる時間帯で月1回開催(冬期間)
町内会において「花いっぱい運動」を実施しており、実施団体を継続的に支援する
公共施設維持保全計画に基づき目標を設定

5-2 地域間交流の促進

目標とする指標	現状値 (R4実績)	令和6	令和7	令和8	令和9
友好市町相互交流年間参加人数(人)	107	10	10	10	10
ふるさと会交流回数(回)	21	3	3	3	3

設定の考え方
派遣事業5名、受入事業5名の計10名
札幌・北海道福島会の総会と代々木公園で開催される北海道フェアでの交流回数を設定

5-3 移住・定住の支援

目標とする指標	現状値 (R4実績)	令和6	令和7	令和8	令和9
定住促進住宅等奨励金補助件数(件)	1	3	3	3	3
定住向け町有住宅整備戸数(戸)	10	14	16	18	20
定住促進住宅建設戸数(戸)	0	1	0	1	0

設定の考え方
毎年3件を目標に制度周知等を行う
若者・子育て世帯の定住を主な目的とした、町有住宅を団地(長屋)形式で整備し、ニーズに応じた住環境を提供する
三岳地区の造成地に子育て世帯住宅を建設することで、子育てのしやすい住環境を提供する

5-4 情報発信の充実

目標とする指標	現状値 (R4実績)	令和6	令和7	令和8	令和9
戸別受信機を活用した広報活動 (件)	389	425	425	425	425
町政懇談会の回数(回)	1	1	1	1	1
町民と議員との懇談会の開催(回)	1	1	1	1	1

設定の考え方
現状値の1割増とした
年1回以上を目標に取り組む (事業説明会等も含む)
議会基本条例に基づき年1回 以上の開催を目標

5-5 行財政運営の推進

目標とする指標	現状値 (R4実績)	令和6	令和7	令和8	令和9
職員定数管理適正化計画に基づく役 場の職員数(人)	92	92	92	92	92
職員研修の年間開催数(回)	33	30	30	30	30
財政調整基金の残高(百万円)	1,354	1,100	1,100	1,100	1,100
町税収納率(%)	91 92.6	92	92	92	92
経常収支比率(%)	90%以下 83.5%	90%以下	90%以下	90%以下	90%以下
実質公債費比率(%)	15%以下 9.8%	15%以下	15%以下	15%以下	15%以下
広報等による財政状況の公表回数 (回)	2	2	2	2	2
ふるさと納税額(千円)	56,000 56,410	70,000	80,000	90,000	100,000

設定の考え方
再任用職員を含む職員定員管 理適正化計画(現在の定員数を 維持)に基づき、目標設定
令和5年度の職員研修の実績 を水準として維持
普通交付税における基準財政 需要額(公債費を除く)の2 分の1を超える額
過去5年間の収納率の平均値 92%で目標数値を設定
「財政の硬直化」といわれる 90%を下回ることを目標と して設定
地方債発行許可団体となる1 8%をさらに下回る率を設定
財政事情説明書の作成及び公 表に関する条例に定めている 回数
様々な場で積極的にPRを行 い、令和9年度には1億円を 目指す。

5-6 広域行政の推進

目標とする指標	現状値 (R4実績)	令和6	令和7	令和8	令和9
第2青函トンネル構想実現に向けた 要請活動(回)	1 0	1	1	1	1

設定の考え方
北海道及び国会議員等に対 し、年1回以上の要望活動を行 う